

2017年4月21日

「リアルタイム振込機能」の活用についてドレミングと基本合意

～ドレミングは同機能を活用した「即払い給与サービス」を提供～

株式会社セブン銀行（以下セブン銀行、東京都千代田区、代表取締役社長 二子石 謙輔）とドレミング株式会社（以下ドレミング、福岡市中央区、代表取締役 CEO 桑原 広充）は、セブン銀行が2017年秋に提供を開始する「リアルタイム振込機能」を活用して、ドレミングが「即払い給与サービス」を提供することで基本合意しましたので、お知らせいたします。



【基本合意概要】

- ・セブン銀行は2017年秋に提供開始する「リアルタイム振込機能」についてドレミングを最初のパートナーとする。
- ・ドレミングは「リアルタイム振込機能」を活用して「即払い給与サービス」を提供する。

「リアルタイム振込機能」はセブン銀行が企業向けに提供する機能で、振込指示を受けて即時に振込を実行するものです。

ドレミングの「即払い給与サービス」は、従業員が自分の働いた実績に応じて「欲しいタイミング」で給与を受け取ることができるサービスです。新しい給与払いサービスを通じて多様な働き方ニーズに応えることができます。

（「リアルタイム振込機能」と「即払い給与サービス」の概要は次ページ【参考情報】ご参照）

なお、セブン銀行は「リアルタイム振込機能」について、API連携での接続を実現予定で、これにより、さまざまな給与計算サービス、経費精算サービス、振込関連サービス提供者等との連携を目指していきます。今後も利便性の高い金融サービスをお客さまに提供すべく努めてまいります。

※ APIとは…アプリケーションプログラムインターフェイスの略称です。ソフトウェア間の情報や指示等の送受信ルール等を定めたもので、APIを利用することでソフトウェア間の機能連携等を安全かつスムーズに行えるようになります。

以上

【参考情報】

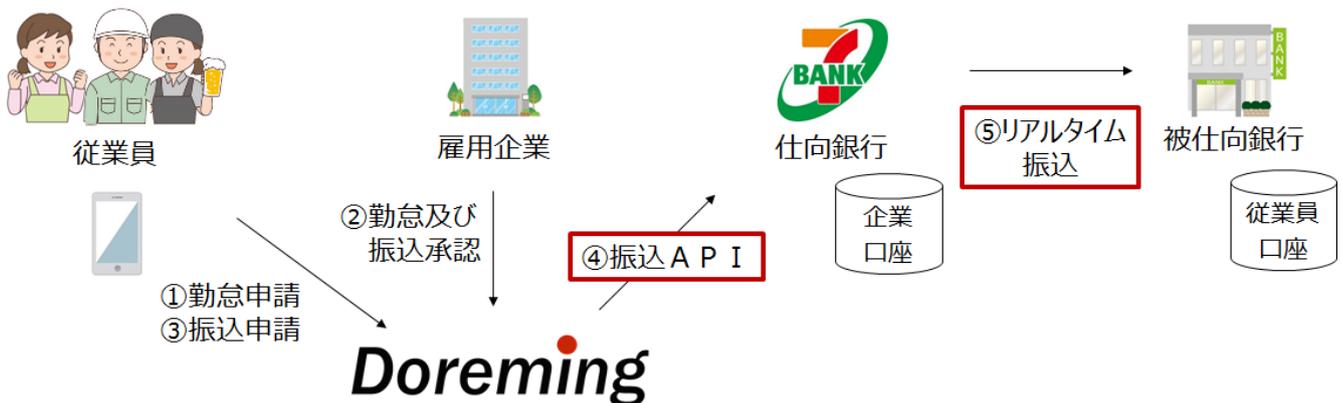
■セブン銀行「リアルタイム振込機能」の概要

- ・企業が行う各種振込について、ドレミング等の外部サービス提供者との連携により、セブン銀行が振込指示を受けて即時振込を実行する機能。（下の図の④、⑤）
- ・企業は、セブン銀行と連携したドレミング等の外部サービス提供者のサービスを通じて、リアルタイム振込機能を利用する。
- ・例えば、企業がリアルタイム振込機能と連携する給与即払いや経費精算事業者のサービスを利用することにより、従業員は当日働いた分の給与をその日のうちに受け取ることや、立替経費の即日精算が可能になる。（被仕向銀行や振込指示の時間によっては一部翌営業日になる場合がある）

■Doreming「即払い給与サービス」の概要

URL : <http://www.doreming.com/ja/>

- ・従業員が退勤した瞬間に日次で税・社会保険料を控除し給与の手取り額を算出するサービスで、クラウド型勤怠・給与計算プラットフォーム「Doreming」のリアルタイム給与計算機能を通じて提供される。（プラットフォームは無償提供予定）
- ・従業員は働いた実績に応じていつでも給与を受け取ることができる。
- ・企業には本サービス利用に関わるシステム利用料などの負担は生じない（振込手数料は発生）



■ドレミング株式会社について

2015年6月設立。キズナジャパン株式会社からのスピンオフにより創業。

ドレミングのミッションは「働くひとの収入を増やし、貧困格差を減らし、平和で心豊かな社会を築くこと」。世界20億人の金融難民救済に向けたサービスを開発、提供することを掲げている。

ドレミングは2016年度 FinTech 100 (KPMG 発表) に、日本企業として初めて選ばれる快挙を達成。

また英国法人 Doreming Ltd. は、2016年6月 “Level39”（ロンドンにある世界最大級の FinTech アクセラレータ、世界各地から180以上の革新的なビジネスモデルを持った企業が入居）に日本企業として初めて入居。2017年3月 “The UK-Japan FinTech Initiative (日英の FinTech による社会課題解決の提言)” を Level39 にて開催。英国財務省 (HM Treasury)、対投資省 (DIT)、Innovate Finance などの英国機関、そして日本の政府機関や大手企業がその志に共感、多くの参加者を募り、貧困と格差への取り組みや持続可能な社会作りに向けての提言を行った。

■セブン銀行の新規事業創出プログラムについて

本件は、セブン銀行が2016年に Creww 株式会社とともに開催した第1回目の新規事業創出プログラムがきっかけとなり、そこで採択させていただいた協業案の事業化に向けた取組みとなります。セブン銀行は、今後もスタートアップ企業とのオープンイノベーションにより、新規事業創出を行ってまいります。

2016年に開催した第1回目の新規事業創出プログラム：

<http://www.sevenbank.co.jp/corp/news/2016/pdf/2016020801.pdf>